

科目番号		50007	分類	共通科目	履修者	高度実践助産コース		学年	
科目名	IT コミュニケーション特論							1	
								担当セクター	
								前期	
担当者	○今泉 一哉			区分	選択	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連		
【概 要】 これからの保健医療従事者にとって必要な IT を用いたヘルスコミュニケーションについて学習する。専門職に必要な情報リテラシーと最新の医療情報の活用方法について学ぶことで、将来保健医療分野のビックデータを扱うためのスキルを養う。 【目 標】 ・現在起こっているデータ・AI 活用の社会背景を理解し、ヘルスケア分野における利活用について考えることができる。 ・データを利活用するための基本的なリテラシーを身につけている。 ・身近な生活や専門職の業務との関係について説明できる。							○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力	
								○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力
							○		3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力
								○	4.周産期の救急時に対応できる能力
							○		5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力
								○	6.研究・開発能力
授 業 計 画									
回	内 容							担当教員	
第1回	社会の変化とデータ活用							今泉	
第2回	データ・AI 活用領域・技術								
第3回	データリテラシー① データを読む・説明する								
第4回	データリテラシー② データを扱う								
第5回	データ・AI を扱う上での留意事項								
第6回	ヘルスデータと社会コミュニケーション								
第7回	ヘルスビッグデータの利活用								
第8回	AI・IoT・ビッグデータ等の可能性								
事前・事後学習	事前学習： 授業に関係する資料・書籍・Web 等を調べる。 事後学習：学習内容を整理する。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考にすること。								
評価の方法	学習確認を各回に実施（70%）、最終レポート（30%）と総合して評価する フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等	エッセンシャル看護情報学 2022 年版 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。								
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								